



薬師寺奉納 赤米おくり1300年記念事業

その①「赤米・田んぼアート」

みなさんのおかげで田植えが終了しました。

5月30日、南中山公民館北隣の22アールの水田でボランティア約100人が、品種の違う苗を泥んこになりながら楽しんで植えつけていました。ご協力いただきましたみなさん、ありがとうございました。10月25日の稲刈りにもよろしくね。11月15日は収穫祭ですよ。みんな来てくださいね。

●赤米ってなんですか？

赤米は、穀類(果皮・種皮)の部分に赤色素(カテコールタンニン)を含んだ米です。少しだけ精米するとうすい赤色になり、ぬかを全部取りのぞくと白米になります。米つぶの形は、短粒(ジャポニカ種)と長粒(インディカ種)があり、日本ではジャポニカ種の「うるち米」が多く見られます。

野生稻の大部分が赤米であることから、赤米は米のルーツであり、赤飯の起源と考えられています。邪馬台国や大和朝廷への献上米も赤米が主だったといわれています。

栄養成分は現代の白米に比べ、たんぱく質や各種のビタミン・ミネラルが多く含まれています。玄米の糠の部分も赤いので、完全に精米し糠をとると白いお米になってしまいます。赤米はそもそも、赤飯のルーツといわれています。赤色の糠(種皮)にはタンニン(ポリフェノール)の一種)系の色素が含まれています。ポリフェノールは最近抗酸化物質として若返りとして注目されています。高い抗酸化力によって活性酸素の働きを抑え、老化や病気を予防します。白米に赤米を混ぜるとおこわのように赤くなり美的にも綺麗ですし食欲をそそります。

赤米の種類は、いろいろありますが今回選定した品種は「紅染めモチ」。これは、晩生モチで穂の色は黄色。見かけは普通の稲とほとんど同じです。モチ穀をむくと赤い玄米が現れます。赤米の品種の中で、食味が最も良いといわれています。国中の田んぼで南中山小学校5年児童が栽培しているものと同品種で、種稲は、栃木県の生産団体(NPO)から購入しました。

●田んぼアートってなんですか？

田んぼアートは田んぼをキャンパスに見立て、色の異なる稲を植えることで巨大な絵や文字を作ります。大規模なもの多くは斜め上から見る前提で図案を設計し、これに基づいて遠近を考慮して植えています。使用される稲は主に食用に広く栽培されている米と、古代に栽培されていた稲である「古代米」、または餅米や観賞用品種の稲です。これらの葉や穂の色によって緑色、黄緑色、濃い紫、黄色、白色、橙色、赤色といった色が作られます。

1993年、青森県南津軽郡田舎館村で村起こしの一つとして田舎館役場裏手の田んぼで始められ日本一の田んぼアートとして広く知られています。現在の面積は主に食用に広く栽培されている米と、古代に栽培されていた稲である「古代米」、または餅米や観賞用品種の稲です。これらの葉や穂の色によって緑色、黄緑色、濃い紫、黄色、白色、橙色、赤色といった色が作られます。

●原画は「おしっさま」

「獅子返し」俗にいう「お獅子さま」は南中山地区の6神社の秋祭りにおける伝統的行事。各神社に奉納されている獅子頭とともに提灯や縮太鼓を手に若者たちが、神社のやらの役職名、新築宅などで振り回ります。

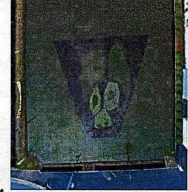
今回の田んぼアートの原画は、昨秋南中山振興会開催した「南中山のお獅子さま児童画コンクール」の入賞作品の中から、林京之介くん(南中山小4年生、現在5年生)の作品「おしっさま」を選択し、お獅子の顔が画用紙イッパイに描かれたユーモラスな作品です。



田んぼアートの原画/林くんの「おしっさま」



田んぼには大きなカメラがありました。今もいるよ。



ドローンで空撮→海田和廣さん(山笠町)



薬師寺奉納
赤米おくり1300年



●不思議なアート苗

使用したアート苗は、葉の色で見せる品種が3種類と穂の色で見せる1品種の計4種類を使用しています。開発元の青森県産業技術センターから取り寄せました。

まず、葉の色で見せる苗を紹介します。「おしっさま」の餅や類の部分は鮮やかな濃いピンク色の「べにあそび」、口は葉先から根茎にかけて赤紫色から黄緑色のグラデーションの「あかねあそび」、白目と鼻は淡黄緑から白色に緑色の縮しまの「ゆきあそび」の3品種。穂の色で見せる苗は、まゆ毛と黒目、鼻の穴は傾穂期から鮮やかな濃い紫色の「紫穂波」という品種の苗を植えました。

5月30日の田植え以降、太陽の日差しを受けて葉の色が変化し始め、株も大きく成長してきました。1月中旬の今からがまさに見頃の時期です。

実行委員・飯田正輝さん(新笠町)に、赤米・アート苗の播種・育苗をはじめ原画の下絵作成や田んぼに品種ごとに区画を割り付ける作業指導を担っていただきました。担当役員とはいえお疲れ様でした。ありがとうございました。



植える前のアート苗



田植えにはバザーが出店 赤米団子と抹茶



●赤米おくり公式ホームページ
http://akajisi.web.fc2.com/
検索キーワードは「赤米おくり1300」。随時更新中です。
◆問合せ先:南中山公民館(☎0778-43-1290)

●田んぼアート「物見やぐら」7月20日(海の日)にオープン

5月30日の田植え以降、太陽の日差しを受けアート苗の葉は品種ごとに緑色からどんどん変化してきました。稲株も成長しずいぶん大きくなり、「おしっさま」がはっきり分かるようになりました。ちょうど見ごろになりましたので、7月20日に、田んぼ西側の県道歩道上に高さ約4メートルの「物見やぐら」をオープンします。設置期間は9月末まで、8月1日開催の南中山納涼祭では、夜間のライトアップを予定しています。みなさん、見に来てくださいね。

●まだまだ変わるぞ! 田んぼアート

これから、田んぼアートはまだまだ、変わります。8月には、田んぼの周りにみなさんから募集したかかしが並び賑やかになります。そして最後は、まゆ毛と黒目、鼻の穴の稲に濃い紫色の穂が実ります。8月中旬下旬ころが最終の完成になる予定です。楽しみにしてくださいね。

●物見やぐらご利用の際の注意事項

- ・4年生以下のお子さんは、家族の方の同伴をお願いします。
- ・5年以上の子は、登ってもいいですが、とびおりたり、ぶらさがったりあぶないことはしないでください。
- ・物見やぐらは、歩道上に設置していますので、歩行者の通行の妨げにならないようお願いします。
- ・歩道や、やぐらの上での悪ふざけなど他人の迷惑にならないようにしてください。
- ・夜間は足元が暗いので、やぐらの利用はお控えください。
- ・万が一ケガをした場合は「南中山公民館」☎43-1290へご連絡してください。

●「赤米の歌」が出来ました!

第1回実行委員会(5/1)と田植え(5/30)の会場で、元「ザ・ルーズ」メンバーの前田一平さんが、自ら作詞作曲した「赤米の歌」を発表しました。とても親しみやすい由です。前田さんは、実行委員会のメンバー。ザ・ルーズ(DOGS)は、通称「ルーズ」。バンドメンバー4人全員が福井県出身。南中山納涼祭(8/1)、収穫祭(11/15)などに出演予定です。



前田一平さん

●長屋王邸と長屋王家木簡

昭和61年(1986年)から平成元年(1989年)にかけて、奈良市二条大路南のそごうデパート建設予定地で奈良文化財研究所による発掘調査が行われ、奈良時代の貴族邸跡から大量の木簡が発見され、長屋王邸と判明。

●赤米の里・南中山

今からちょうど1300年前、奈良時代に南中山地区でとれた赤米が、平城京に住む皇族・長屋王(684?~729)に送られていた。長屋王邸跡の発掘調査にあたり地中から有札木簡(木片に書かれた荷物の送り状)が出た。木簡の表に「丹生郡中津山里生部安倍赤米一石」、裏には「和銅八年」(715年)と書かれている。「丹生郡中津山里」は、現在の南中山地区であり、奈良時代から平城京と深いつながりをもった歴史ある赤米の里です。

有札木簡(右が表)

●薬師寺と今立(越前和紙)

薬師寺に奉納された『大唐西域壁画』は日本画家・平山郁夫氏(東京芸術大学7代目学長)が越前和紙に描いたものである。紙の大きさは縦2.7メートル×横3.7メートル、使用された藤料もきめ総重量約40kgもの重さに耐える紙でありながら、書画用紙として美しい紙でもある。また、薬師寺のお写経用紙も越前和紙を使用していることから、薬師寺と今立は和紙を通じたつながりが深い。

さらに、第26代継体天皇ゆかりの花籠公園・薄墨桜の若木が、粟田部地区から平成22年に贈られ、薬師寺の玄奘三蔵院伽藍・写経道場前で、春には満開の花を咲かせる。薬師寺と今立、現在ちいさな縁がある。

●歴史の保存・継承

平成16年から、郷土史研究者・藤本正晃氏(越前市・国中、長宝寺住職)の提唱により、南中山小学校5年生「ふるさと学習」とも連携し、国中町の水田で「赤米づくり」が始まった。地元農家の協力のもと、収穫した赤米は児童自らが毎年薬師寺へ奉納しています。

■荷札木簡記載の年号から1300年目

2015年は、平城京・長屋王へ送られた赤米の荷札木簡の裏面に記されていた年号「和銅八年」(715年)からちょうど1300年目となる。記念の年を迎えるにあたり、これまでの小学生の赤米づくりとは別に、南中山地区自治振興会では歴史の伝承を図るため、特別事業に取り組むことになりました。

●どんどん、やります。1300年事業(今後の予定)

- 2015.7.19 田んぼアート用「物見やぐら」の組立設置。
- 2015.7.20 物見やぐらを一般開放(〜9月30日)。
- 2015.7.26 かかしコンテスト作品搬入日。
- 2015.8.1 南中山納涼祭で田んぼアートを夜間ライトアップ。(〜PM10:00)
- 2015.8.5 赤米おくりサイクリングツアー参加者公募。(〜8月25日)
- 2015.8. 食を考える(仮称)講座
- 2015. 古代米レシジ教室
- 2015.9.15 赤米レシジコンテスト募集開始
- 2015.9.15 赤米稲刈りボランティア募集開始。
- 2015.9.15 赤米収穫祭バザー出店、ステージ出演者募集開始。
- 2015.9.15 赤米奉納薬師寺バスツアー参加者一般募集開始。
- 2015.10.1 赤米販売予約開始。(7分換き、300グラム300円)
- 2015.10.25 赤米稲刈り(すべて手作りで)。
- 2015.11.15 赤米おくり収穫祭(文化祭と共催)
- 2015.11.15 赤米レシジコンテスト(収穫祭)
- 2015.11.16 薬師寺管主講演会(しまで芸術館)
- 2015.11.19 赤米おくりサイクリングツアースタート(11/19〜20)
- 2015.11.20 南中山小学校5年児童赤米奉納
- 2015.11.20 赤米おくりバスツアー(一般参加者)
- 2015.11.20 サイクリングツアーと合流し、薬師寺へ赤米奉納。
- 2016.3月 「赤米おくり1300年記念誌」発行。



5/30 田植

6/10



6/15



6/20



6/20 雑草取り(上2枚)



6/23